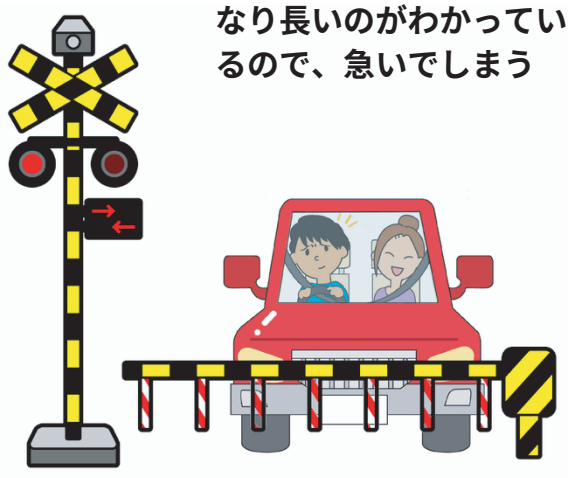
●うっかり事例集――「先急ぎ運転」編

せっかちな性格で急ぐ！

- ハンドルを握ると、人より速く走らなければ気がすまなくなる
- 渋滞の予告表示を見ると、すぐ迂回路を考えてしまう
- 交差点でなかなか右折しない前車を見ているとイライラする
- 黄信号に変わるとアクセルを踏み込む癖がある
- 少し待たされるだけでイライラするほうだ
- とくに到着時間が決まっていない場合も、少しでも早く着きたいと思う
- 停留所にバスがいると、発進されたらかなわないとついアクセルを踏む

交通状況による急ぎ

- 交通量が多いので、右折レーンに到達する前に赤信号に代わるかもしれないという気持ちになり、ゼブラゾーンを走行して直進車を追い抜いてしまう
- 合流しようとする幹線道路が混んでいると、少しでも車間があいたとき、焦って左側の安全確認をしないまま、車を入れようとしてしまう
- チェーンを積み忘れ、雪が降ってきそうなとき、あわててしまう
- 意外に早く日が暮れてきたため、「もう夜になったか」と思い、つい急ぐ
- 渋滞のなかで片側の車線が急に流れてきたら、つい慌てて車線変更する
- この踏切は一度待つとかなり長いのがわかっているので、急いでしまう



自分自身や仕事の理由による急ぎ

- 家族の者が寝坊して出発時間が遅れた
- お客様からの苦情で、何時まで来いとの申し出があり、急いだ
- 早く帰社してトイレに行きたかった
- 同僚の説明で大体道を理解したつもりだったが、実際に行ってみると交通量が多くて、ゆっくり確認する余裕がなく道に迷い、遅れそうになった
- 近道だと思って入った道が、全く違う道でどこで曲がるかわからなくなった
- 数年前に行ったことがあるので、すぐわかると考えていたら、周囲の建物や道路が大きく変わっていてあわてた
- 名刺の枚数が少なく、途中で不足したため、会社に戻っていて遅くなった